



第103期 中間報告書
2022年4月1日～2022年9月30日

夢から感動へーハートテクノロジー



(証券コード 1890)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
(返還先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

本報告書は2022年9月末時点での株主の皆様にお送りしております。

開く

濡れている場合は乾かしてから
はがしてください

★ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第103期第2四半期の概況をご報告申し上げます。

当社グループでは、中期経営計画“Being a resilient company”の最終年度となる当事業年度は、レジリエント企業の実現に向けた次のステップにつなげるために、基幹3事業である国内土木、国内建築、海外建設の各事業における重点施策を積み残しなく実行し、計画達成に向けて邁進しております。

〔国内土木事業〕

環境変化に耐えうる事業基盤の構築に向けて、当社の基盤である官庁海上工事のシェアアップ、民間及び官庁陸上工事の受注拡大、成長ドライバーであるケーブル敷設分野を中心とする洋上風力事業への取り組み促進、及び生産性の向上に努めております。

〔国内建築事業〕

営業利益を安定的に確保するため、組織営業力とコスト競争力の強化、ストック市場への取り組み強化策としてReReC®への注力、及び生産性の向上に努めております（ReReC®：Renewal、Renovation、Conversionの総称）。

〔海外建設事業〕

地域に根差した事業展開を継続し、顧客深耕や生産性の向上、現場力の強化に取り組み、事業量の拡大及び利益の安定的な確保に向けて基盤強化に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、734億81百万円となり、営業利益は23億99百万円、経常利益は23億81百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億79百万円となりました。

中期経営計画の達成はもとより、その先に控える創立100周年に向け、引き続き役員・職員が一丸となって努力してまいりますので、株主の皆様からのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

武澤 恭司

2022年11月

★ TOYOトピックス

サクシヨンバケツ基礎（マルチタイプ） の実証実験を実海域で実施

今夏、当社は日立造船株式会社様（大阪府大阪市、取締役社長兼CEO：三野 禎男）と、着床式洋上風力発電施設への適用を目指すサクシヨンバケツ基礎（マルチタイプ）の施工技術実証実験を実海域で実施いたしました。

洋上風力の日本での普及には低コスト化が重要ですが、世界的に進む風車の大型化はコストダウンの大きな要素となります。

昨夏はバケツが1つのモノタイプの実証実験を行いました。今回は15MW級以上の大型風車に対応できる、バケツを3つつなげたマルチバケツの実験を行いました。

サクシヨンバケツ基礎は、日本の地盤に適した工法であり、洋上風力発電施設の適地拡大に貢献できること、施工中の騒音振動が皆無で環境面に優れていること、確実に撤去が可能であるといった特徴がありますが、これに加えてマルチバケツでは、モノバケツに比べて施工しやすいことを確認いたしました。サクシヨンバケツ基礎は今年度中を目途に技術認証を取得し、2026年頃に最も低コストの着床式基礎技術として実用化を目指します。

当社はこれからもクリーンエネルギーの普及ならびにコスト削減に資する技術開発により、低炭素・循環型社会の実現に向けて貢献してまいります。



マルチバケツ実証実験の状況



マルチタイプ（左）とモノタイプのバケツ

★ TOYOトピックス

大型食品工場を受注

当社は、株式会社Peace Deli 様より当社として過去最大級となる食品工場「Peace Deli 千葉キッチン（千葉誉田PJ）」を受注いたしました。

本工場は、株式会社セブン&アイ・ホールディングス様のグループ食品戦略に基づく「グループ共通のインフラ」として立ち上げたプロジェクトであり、惣菜などを製造するセントラルキッチンと、生鮮品を加工するプロセスセンターを併設した食品製造工場になります。

当社は、これまでに数多くの食品工場を建設していくなかで、お客様がご困りの状況を早急に解決する短工期施工の実現や、配慮すべき点が多く難易度が高い稼働中の工場の改修など、当社の技術力とノウハウを最大限に活かした提案・施工を行ってきました。このような施工実績の積み重ねにより、お客様からの信頼を得ることができ、様々な食品工場案件をご下命いただくに至ったと考えております。

食品工場は当社が注力する分野のひとつであり、今後も当社の強みを発揮して案件を獲得し、お客様にご満足いただける施工に努めてまいります。



「Peace Deli 千葉キッチン」の完成予想パース

★ 2023年3月期第2四半期の連結業績概況

経営成績

当社グループの経営成績の状況は以下のとおりです。

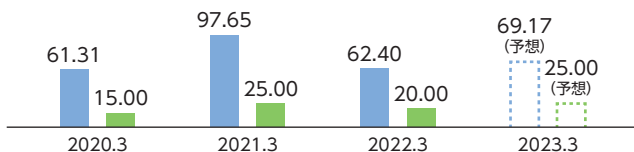
(単位：億円)

	2021/3 2Q実績	2022/3 2Q実績	2023/3		
			年度計画	2Q実績	対計画 進捗率
売上高	758	738	1,820	734	40%
完成工事高	755	735	1,813	731	40%
国内土木	446	446	911	349	38%
国内建築	239	205	662	273	41%
海外建設	68	83	240	108	45%
兼業事業売上高	3	3	7	3	48%
営業利益	40	30	97	23	25%
経常利益	37	30	96	23	25%
親会社株主に帰属する四半期純利益	23	18	65	17	27%

1株当たり当期純利益、年間配当金推移

■ 1株当たり当期純利益 ■ 配当金

(単位：円)



★ 会社概要 (2022年9月30日現在)

社名	東洋建設株式会社
英文名	TOYO CONSTRUCTION CO., LTD.
創立	1929年7月3日
資本金	14,049,367,174円
営業種目	土木建築工事の請負、建設コンサルタント、土地造成、地域・都市・海洋・資源エネルギー開発及び環境整備、公共施設の企画、管理運営、エネルギー供給に関する事業、不動産業、その他関連事業
従業員数	1,628名 (連結)

★株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

会社法改正により、2022年9月1日に株主総会資料の電子提供制度が施行されました。この制度においては、インターネットの利用が困難であるなどの株主さまの事情に配慮して、「書面交付請求」の手続きも設けられています。

当社では、2023年3月以降に開催する株主総会から、株主総会資料を当社ウェブサイト等に掲載させていただく予定です。

2023年6月定時株主総会については、株主総会資料の書面での受領を希望される株主さまは、**2023年3月末日*までに「書面交付請求」**をしていただく必要があります。

*株主総会の基準日がお手続きの期限です。お手続きが間に合わなかった場合は、書面交付はその次の株主総会からとなります。

スケジュール

2022年9月1日~2023年3月末日 …… 株主さまにて書面交付請求

2023年6月上旬 …… 株主さまへ株主総会資料を書面でお届け

お問い合わせ先

東洋建設株式を保有されている口座がある証券会社 または
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル **0120-696-505**

9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日を除く)

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

